

式 辞

日ごとに春の陽ざしが暖かさを増し、万物に生命の躍動が感じられる季節になってまいりました。本日ここに、山梨県知事長崎幸太郎様をはじめ、多数のご来賓の皆様方のご臨席のもと、令和二年度 山梨ことぶき勸学院卒業証書授与式を、このように盛大に挙行できますことに、心から感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました百三名の皆様、ご卒業おめでとうございます。生涯学習の理念に立ち、学習や地域活動を通じた豊かな人生の実現を図ることを設置の主な意義・役割として昭和六十二年に開校されたことぶき勸学院ですが、本日、三十三回目の卒業式を迎え、卒業生は皆様を含め、八千六百十五名になります。(このうち四名は、私の両親と妻の両親です。私事で失礼しました。)

さて、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、九月まで開講を延期いたしました。またサークル活動も自粛をお願いするなど、様々な面で不自由な思いを強いることとなりましたが、そのような中にあっても皆様は、学ぶ意欲を大切に、山梨の歴史や文化、自然など多くの講座で学習を進めてこられました。

二年前のご入学以来、ここで出会われたかけがえない友人とともに、学びを深められ、そのご努力と真摯な姿勢に、心より敬意を表します。皆様は日常と幾分か違う緊張感の中で、勸学院での活動に参加されてきたと思います。卒業を迎えると、何か張り合いを失ってしまうような気持ちも正直あるかもしれません。

しかし人生は、何か大きな目標のためにあるというよりも、そのときそのときの生活の中で、ささやかながらも確固とした生きがいを見つけることの積み重ねなのだと思います。皆様方におかれましては、本日までの勸学院での学びを延長して、明日からの生活の中に新たな生きがいを持ち続けてほしいと思います。

今日の世界は、情報化やグローバル化の進展、さらには新しい感染症への対策など、かつて経験したことのない大きな変化への対応が迫られております。持続可能で、活力あふれる社会の構築に向けて、卒業生の皆様には、勸学院での学びを活かして、大いに活躍いただけることをご期待申し上げます。

結びに、勸学院の運営にご尽力ご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げますとともに、卒業生の皆様のご健勝とご活躍を、併せてことぶき勸学院の益々の発展を願い、本県が文化の香り高い豊かな社会であることに誇りを持ちながら、卒業証書授与式にあたっての式辞といたします。

令和三年三月十一日

山梨ことぶき勸学院 学院長 齊木 邦彦